

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		2-	6
事業名	コミュニティバス事業費	会計	款	項	目
		一般	2	1	12
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	政策課		
施策	9-3 公共交通網の維持・確保	係名	政策係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者が公共交通としてのオレンジバスを利用して、移動ができています。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オレンジバス3台による運行委託</li> <li>・地域公共交通会議による生活交通確保維持改善計画の策定と効果検証、ルート・ダイヤ等の検討、地域公共交通計画に基づく効果検証</li> <li>・バスロケーションシステムによる利便性の確保と利用者データの把握</li> </ul>			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1	オレンジバスの乗車人員	74,453	74,515		人	↑
2	新たな技術や移動手段などの取り組み事業数	0	0		事業	↑	1
3	オレンジバスを普段利用している町民の割合	-	-		%	↑	7
4							
5							
		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(予算)	
全体事業費(千円) A+B		86,727		81,557		89,295	
財源内訳	直接事業費 A	79,467		81,557		89,295	
	うち一般財源	60,535		64,566		73,192	
人件費(千円) B		7,260		0		0	
内訳	一般職員(人・千円)	1.1	7260		0		0
	臨時職員(人・千円)	0	0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	より使いやすいバスとなるようルート、ダイヤの検討と、オレンジバスを補完する交通の検討。	③取組の課題	昨年度ベースで利用者は微増にとどまった。コロナ以前の利用者回帰を目指すため、利用周知や利便性の向上への取り組み。
②R4年度に実施した取り組み	長引くコロナ禍の中、利用者減に対するアプローチとして利便性の向上を図るため、ルートダイヤの更新について事務を進めた。	④今後の改善計画	R5年10月ルートダイヤの改正にむけ、関係者との協議、公共交通会議での承認、国への申請、周知啓発を着実に進める。その他オレンジバスを補完する交通の検討。